

YAMAHA ELECTONE®

補助ペダル鍵盤

PK-2

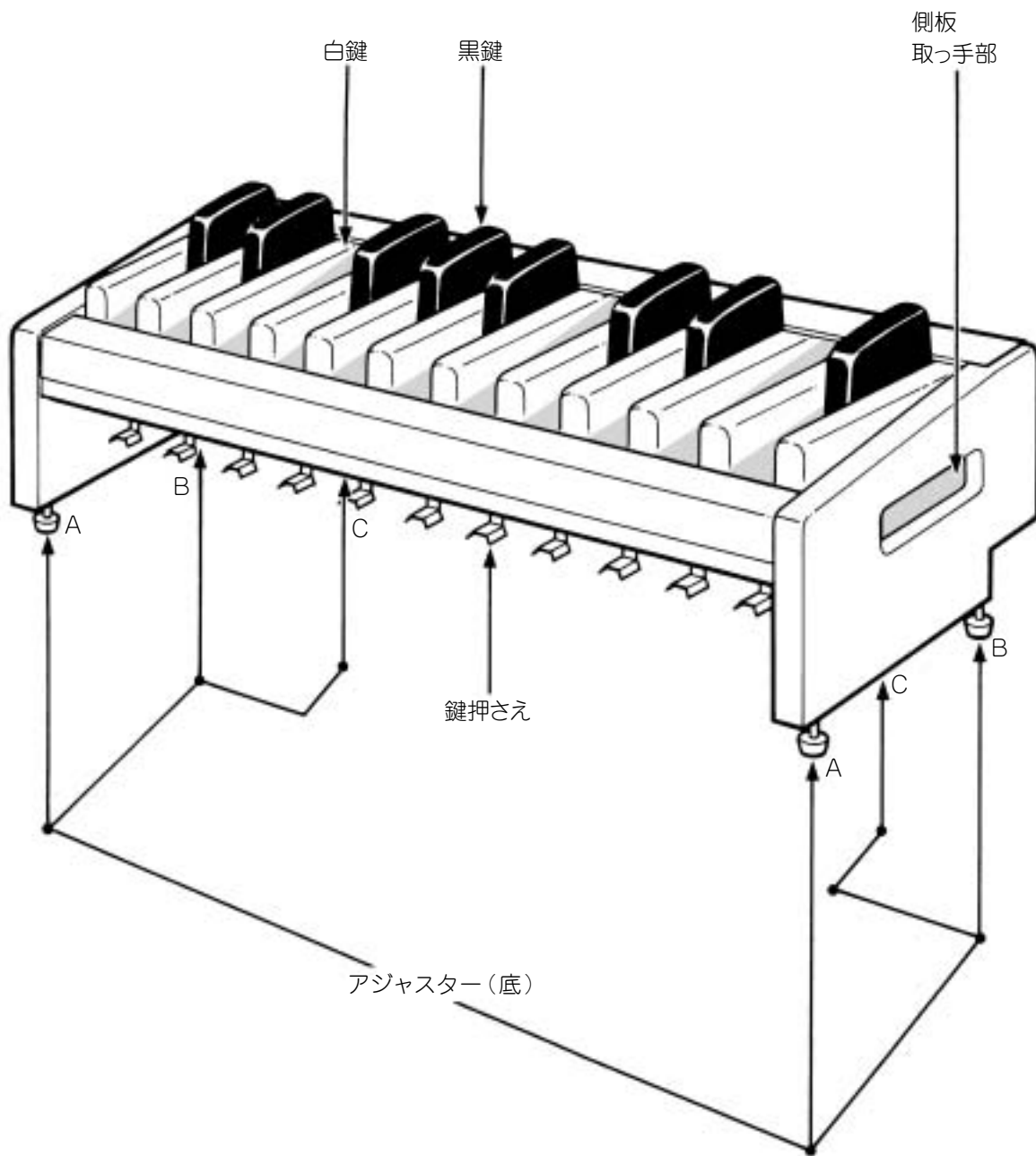
取扱説明書



YAMAHA

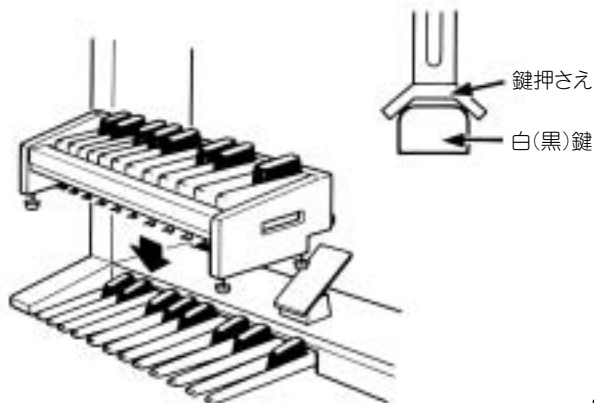
各部の名称

このたびは、ヤマハエレクトーン補助ペダル鍵盤〈PK-2〉をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。この補助ペダル鍵盤は、小さなお子さまにエレクトーンのペダル鍵盤を自由に弾きこなしていただくためのものです。設置の方法をご覧の上、ご愛用いただきますようよろしくお願い申し上げます。



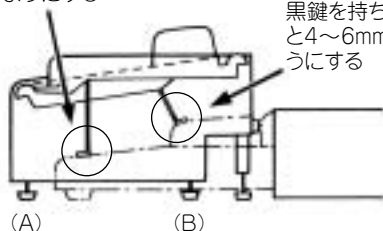
補助ペダル鍵盤のセット

- 1 補助ペダル鍵盤の側板取っ手部を両手で持ち、エレクトーンのパedal鍵盤の上にのせます。(鍵押さえが各鍵の真上にくるようにセットします。)



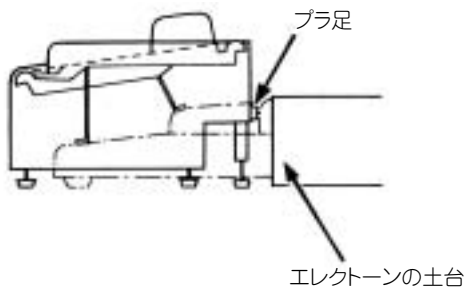
白鍵を持ち上げても浮かないようにする

黒鍵を持ち上げると4~6mm浮くようにする

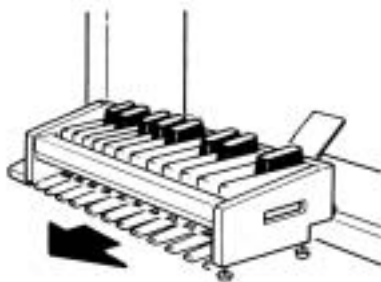


各鍵盤の高さが同じになるよう、左右のアジャスターを交互に調節してください。

- 2 補助ペダル鍵盤のプラ足がエレクトーン本体の土台に当たるまで、軽く押し込んでください。



- 4 補助ペダル鍵盤を軽く手前に引いて、奥のキーの間にある2個のアジャスター(C)を、側板のアジャスター(B)と同じ高さに調整してください。



- 3 アジャスターを調整して補助ペダルの高さを決めます。

まず、前側2個のアジャスター(A)を調整して、補助ペダル鍵盤の白鍵を持ち上げたときに、エレクトーンの前鍵盤から鍵押さえが浮かない高さにします。

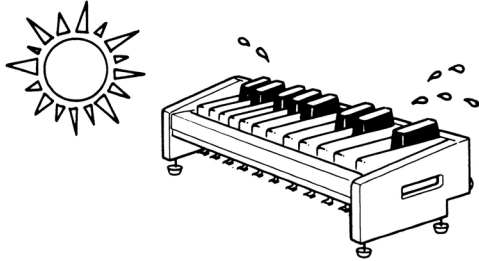
次に、後側2個のアジャスター(B)を調整して、補助ペダル鍵盤の黒鍵を持ち上げたときに、鍵押さえがエレクトーンの前鍵盤から4~6mm浮く高さにします。

- 5 補助ペダル鍵盤をエレクトーンのパedal鍵盤の上にのせ、補助ペダル鍵盤のプラ足がエレクトーン本体の土台に当たるまで、軽く押し込んでください。

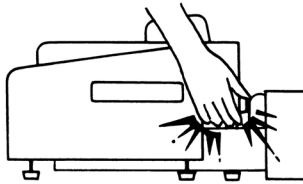
- 6 エレクトーンの椅子に座り、補助ペダル鍵盤を弾いて、ぐらつきがないことや、すべての鍵盤から正常に音が出ることを確認してください。鍵盤が下まで踏み込めない、アフタータッチが効かない、などの問題がある場合は、手順3~5を繰り返してアジャスターを調整しなおしてください。

長くお使いいただくために

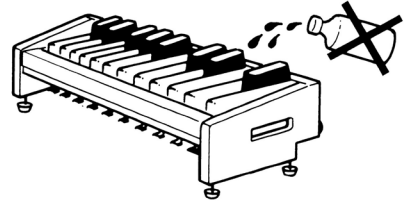
- 1 補助ペダル鍵盤をストーブの近くや直射日光が長時間当たるような所へ置かないようにしましょう。



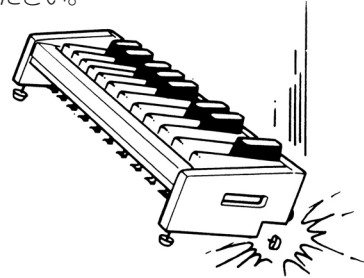
- 2 設置する場合に指などをはさまないようにご注意ください。



- 3 補助ペダル鍵盤のお手入れは、乾いた布、または水でしめらせた布でお拭きください。シンナーやベンジンなどはご使用にならないでください。



- 4 補助ペダル鍵盤は、演奏中に位置が動いたりしないように、ある程度重くなっています。設置や移動の際に落とさないようにご注意ください。



ヤマハのサービスネット

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

◆修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-012-808

※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。
上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-4830へおかけください。

受付時間 月曜～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAX

東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海)
03-5762-2125

西日本(北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄)
06-6649-9340

◆修理品お持込み窓口

受付時間 月曜～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX(03)5762-2125

西日本サービスセンター 〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17
ナンバ辻本ニッセビル7F
FAX(06)6649-9340

※名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

ヤマハ株式会社